

## まちづくり懇談会ふれあいトーク

### 「テーマトーク “女性も活躍する地域について、” の結果について

#### 1. まちづくり懇談会ふれあいトークとテーマトークの開催の目的

##### （１）まちづくり懇談会ふれあいトークの概要

本市では、平成 23 年度より広聴事業の一つとして、「まちづくり懇談会ふれあいトーク」（以下、ふれあいトーク）を各地域において開催している。

- ・ふれあいトークは、市長をはじめとする市執行部が市内各地域に出向き、市民の市政に対する意見・提案等を直接聴くことにより、課題等を共有し、市政に反映すること、また、市の重要施策を市長等から直接市民に説明することにより、事業の周知を図ることを目的としている。
- ・市執行部からの重要施策に関する報告ののち、フリートークによる懇談を行う。
- ・提案されたご意見について、次年度の予算編成向け十分な検討期間を確保するため、例年 6 月から 8 月にかけて全 12 回実施している。

##### （２）テーマトーク

これまでのふれあいトークでは、フリートークにて自由な意見交換を実施していたが、令和 7 年度より市が抱える特定の課題について、現状認識を共有し、行政だけではなく、懇談会に参加いただいた市民の皆様と課題を共有化し共に考え、課題や解決策について自由な意見をいただき市政の参考にさせていただくことを目的に、「テーマトーク」を行った。

また、テーマを設けることによって、今まで懇談会に参加したことのない新たな市民に関心をもってもらい参加者数を増やすことも期待した。

#### 2. テーマトーク “女性も活躍する地域について、” 本市の現状と国県の状況等

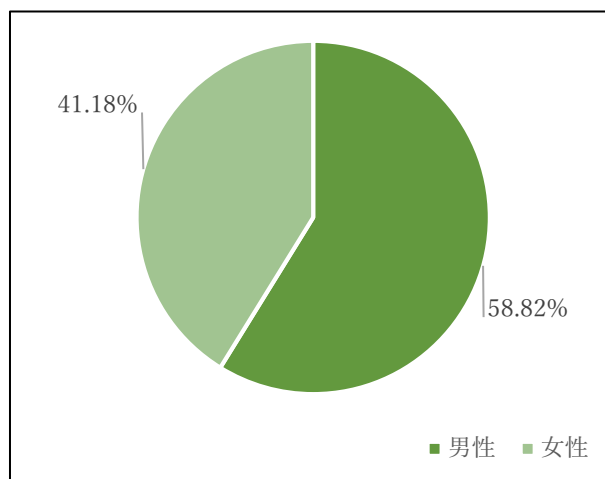
令和 7 年度は、国の「女性版骨太の方針 2025」の原案に、「女性に選ばれ、女性が活躍できる地域づくり」に取り組む方針が示されたことや、栃木県において、人口減少問題の克服に向けて栃木県人口未来会議が設置されたこと、また本市において、「人口減少」や「少子高齢化」が進んでおり、特に 20 歳から 39 歳の女性の減少する割合が高くなっていることを踏まえ「女性も活躍する地域について」をテーマに実施することとした。

栃木市が現在置かれている現状と、市の取り組みについて「ふれあいトーク」で説明し、参加者から意見を聴取した。

### 3. テーマトークでの意見の集計結果と分析

#### (1) 男女別発言者数

| 性別      |          | 男性 | 女性 |
|---------|----------|----|----|
| 人数      |          | 21 | 15 |
| (地区別内訳) | 岩舟       | 2  | 2  |
|         | 藤岡       | 2  | 2  |
|         | 大平       | 5  | 3  |
|         | 西方       | 3  | 2  |
|         | 都賀       | 2  | 3  |
|         | 大宮・国府    | 3  | 2  |
|         | 吹上・寺尾    | 4  | 1  |
|         | 皆川       | 2  | 2  |
|         | 第1・5地区   | 3  | 1  |
|         | 第2・3・4地区 | 3  | 1  |
|         | 第6・7地区   | 1  | 2  |



【図：発言者の男女比（全体）】

#### (2) 発言内容別集計

| 意見別     |          | 就労・働き方 | 教育・啓発  | 子育て支援  | 広報    | ジェンダー | 若者支援  | まちづくり | 結婚支援  | その他    |
|---------|----------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 件数      |          | 18     | 11     | 10     | 5     | 5     | 5     | 4     | 3     | 15     |
| 割合      |          | 23.68% | 14.47% | 13.16% | 6.58% | 6.58% | 6.58% | 5.26% | 3.95% | 19.74% |
| (男女)    | 男性       | 10     | 6      | 6      | 3     | 3     | 3     | 2     | 2     | 12     |
|         | 女性       | 8      | 5      | 4      | 2     | 2     | 2     | 2     | 1     | 3      |
| (地区別内訳) | 岩舟       | 0      | 3      | 0      | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     | 3      |
|         | 藤岡       | 3      | 0      | 1      | 1     | 0     | 1     | 1     | 1     | 2      |
|         | 大平       | 3      | 1      | 1      | 2     | 0     | 3     | 1     | 0     | 0      |
|         | 西方       | 2      | 3      | 1      | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     | 1      |
|         | 都賀       | 1      | 0      | 2      | 0     | 1     | 0     | 1     | 0     | 1      |
|         | 大宮・国府    | 1      | 1      | 3      | 1     | 1     | 0     | 0     | 0     | 0      |
|         | 吹上・寺尾    | 1      | 1      | 1      | 0     | 1     | 0     | 0     | 0     | 2      |
|         | 皆川       | 1      | 0      | 1      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 2      |
|         | 第1・5地区   | 3      | 0      | 0      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 3      |
|         | 第2・3・4地区 | 2      | 2      | 0      | 0     | 1     | 1     | 1     | 0     | 1      |
|         | 第6・7地区   | 1      | 0      | 0      | 1     | 1     | 0     | 0     | 0     | 0      |

※一人で複数の意見を発言していることから、男女別発言者数と一致しない。

○ 発言内容は、「就労・働き方」に関する意見が最も多く、次いで「教育・啓発」、「子育て支援」の順で多くなった。また、男女間の割合もほぼ同数となっており、男女間で隔たりのある意見は見当たらない。

### (3) 発言内容別の詳細

#### 【就労・働き方】

- 女性の労働条件（所得、業務量、非正規雇用の解消等）の改善が必要  
（藤岡：男性）（西方：女性）（都賀：男性）
- 女性の就農支援（農業が子育てとの両立が可能）（藤岡：女性）
- 企業版ふれあいトークの開催（魅力的な職場づくりの推進）（藤岡：女性）
- 若い女性が就職したい職場（おしゃれな職場、多様な職種）が必要  
（大平：女性）（大平：男性）（第1・5地区：男性）  
（第2・3・4地区：男性）
- 雇用の生まれる企業を誘致（大平：男性）（皆川：女性）
- 女性が働きやすい（活躍できる）職場が必要  
（西方：男性）（大宮・国府：女性）
- 市内に就職したい企業がないのが原因（吹上・寺尾：女性）
- （若い人が）働く場所が必要  
（第1・5地区：男性）（第2・3・4地区：男性）（第6・7地区：男性）
- 育休肩代わり手当（育休中の職員の代わりに仕事をする人への手当）の導入  
（第1・5地区：女性）

#### 【教育・啓発】

- 人材育成が必要（岩舟：女性）
- 大学（短大）の誘致が必要（岩舟：男性）（第2・3・4地区：男性）
- 子どもへの啓発（女性が活躍する姿を子どもに見せることで、地元に残りたいと思ってもらい、地域で子どもと関わる施策（アシストネット等）を子どもに啓発することで将来栃木市に戻って来てもらえる等）（岩舟：女性）（西方：女性）
- グローバルに活躍する女性が必要（外国語教育や多文化共生の推進）  
（大平：男性）
- 保育や教育分野で特色のある施策が必要（西方：男性）
- 教育分野での大胆な施策が必要（西方：男性）
- 近隣大学との連携（大宮・国府：男性）
- 市内に大学がないのが原因（吹上・寺尾：女性）
- 多様な価値観を受け入れる地域（第2・3・4地区：男性）

#### 【子育て支援】

- 子育て支援施策の強化（充実）が必要  
（藤岡：男性）（都賀：女性）（大宮・国府：男性）
- 栃木市で子育てしたいと思う施策が必要（大平：女性）
- ふるさと納税の寄附を子育て支援に活用（西方：男性）
- 親子で遊べる施設（環境）の充実（都賀：男性）
- 子育て支援事業の土日開催等（大宮・国府：女性）

- 幅広い年代への子育て支援が必要（大宮・国府：女性）
- 子育てしやすい環境が必要（特に0歳から3歳児の預け先の充実）  
（吹上・寺尾：男性）
- 子育てに専念できる施策が必要（仕事との両立ではなく）（皆川：男性）

#### 【広報】

- 子育て環境の良さを積極的に周知する（藤岡：男性）
- 高校生に子育て支援や市の将来像などの周知が必要（大平：男性）
- 子育て支援事業（子育て施設利用助成等）を積極的に周知する  
（大平：女性）（大宮・国府：女性）
- 栃木市の魅力を若い女性にPRする必要がある（第6・7地区：男性）

#### 【ジェンダー】

- 男性の家事参加の推進が必要（都賀：男性）
- 男性の子育て参加（大宮・国府：女性）
- 家事や育児に対する男性の意識改革が必要（吹上・寺尾：男性）
- 男女格差がない地域（第2・3・4地区：女性）
- 40歳以上の世代の意識改革が必要（ジェンダーギャップ等）  
（第6・7地区：男性）

#### 【若者支援】

- 若者が集う（交流する）機会（体育祭など）が必要（藤岡：男性）
- 若い人（中高生を含む）が集える場所（遊ぶ場所・買い物できる場所）が必要  
（大平：女性）（第2・3・4地区：男性）
- 若い人への経済的支援（減税）が必要（大平：男性）
- 大学生が活動できる施設が必要（大平：女性）

#### 【まちづくり】

- 市街化調整区域の見直し（藤岡：女性）
- 駅前のにぎわいづくりが必要（大平：男性）
- 女性ファーストのまちづくり（都賀：男性）
- 女性が住みたいと思う場所（建物）が必要（第2・3・4地区：女性）

#### 【結婚支援】

- 市主催の婚活の開催（岩舟：男性）
- 婚活実施団体への支援（市は婚活イベントの主催者にならない方が良い）  
（藤岡：男性）
- 出会いの場が必要（西方：女性）

## 【その他】

- 先進地（千葉県流山市等）の事例を参考にする（岩舟：男性）
- 県外の高校への進学に対する対策が必要（岩舟：男性）
- メリットがデメリットになること（県民所得が高く、教育にお金がかけられることで県外の高校への進学につながるなど）の対策（岩舟：男性）
- 効果的な施策をブラッシュアップする（藤岡：男性）
- 女性が主催するイベントへの支援（藤岡：男性）
- 女性が癒される場所（美容系の施設等）が必要（西方：女性）
- 都心への鉄道でのアクセス向上（都賀：女性）（皆川：男性）
- 都会にない魅力が必要（長期的なビジョンが必要）（吹上・寺尾：男性）
- 若い人の意見を聴く必要がある（吹上・寺尾：男性）
- 女性から意見を聴きやすい環境整備（会議の開催時間や託児等）（皆川：女性）
- 合計特殊出生率の高い地域の事例を参考にする（第1・5地区：男性）
- 補助金以外のソフト面での支援が必要（第1・5地区：男性）
- 仕事と結婚、子育てに関する価値観を調べる必要がある（第1・5地区：男性）
- 男性の魅力向上が必要（第2・3・4地区：男性）

## 4. 今後の取組等

- ・10月には、市内経営者等と、11月には、20歳のつどい実行委員会委員等との市長との意見交換会（共に参加15名程度）を実施し、市内の事業者や若者の考えを聴き議論を深める。

### ① 経営者と市長との意見交換会

日 時：令和7年10月8日（水）14時30分～16時30分

会 場：栃木市役所 本庁舎 501 会議室

テーマ：「女性も働きやすい職場について」

### ② 若者世代と市長との意見交換会

日 時：令和7年11月15日（土）13時30分～15時30分

会 場：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（栃木市市民交流センター）講義室

テーマ：「女性も活躍する地域について」

- ・ふれあいトークでの意見及び経営者及び若者世代との意見交換会にて、皆様からいただいた意見については、取りまとめ、庁内で共有し、各施策へ反映することを予定しています。

なお、テーマトークにおいて、「就労・働き方」に関する意見が多数を占めたことを踏まえ、産業振興部においては、「就労環境のあり方」について栃木商工会議所等関係団体との協議を開始する予定でいるほか、地域振興部においては、移住定住施策で重点的に取組むべき事項に意見を反映してまいります。

## 【問合せ先】

広報課 広報広聴係

担当：石川、戸恒

電話：0282-21-2317